

令和7年度 北海道地域環境学習講座「eco-アカデミア」講座内容

項目	講座番号	講座名	内 容	区分						トレーナー (所属等)	居住地
				幼児	小学生	中学生	高校生	一般	その他		
「地球環境」のサイエンス	1	安全保障と環境政策	[講演] ①～④などをテーマにお話します。: ①安全保障とは ②エネルギー安全保障 ③食料安全保障 ④安全保障と環境政策 エネルギー、食料危機になれば私達の生命、暮らし、産業を守ることができません。環境政策を進める中で、エネルギー、食料の調達を阻害する事例を紹介し留意しなければならない視点を伝えます。				○	○		中村 恵子 (環境カウンセラー)	伊達市
「循環型社会」の構築を目指して	2	私達の実践で創ろう!! 持続可能社会-SDGsを意識した環境に配慮した暮らし方-	[講演] ①～⑦などをテーマにお話します。①循環型社会の道筋づくり～SDGsを意識した環境に配慮した暮らし方～ ②快適環境な街づくり ③バイオマスニッポンをめざして ④日本の環境問題と環境政策 ⑤事業所での環境配慮の取組 ⑥ごみの分別と資源化方法 ⑦環境に配慮した暮らし方				○	○		中村 恵子 (環境カウンセラー)	伊達市
「環境に配慮した行動」とは何か	3	元気なうちにお片付け	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。 [テーマ] ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装(3R)、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など [その他] 小学生向けの紙芝居も体験できます。	○	○	○	○	○		石塚 祐江 (NPO法人環境り・ふれんず 代表理事)	札幌市
	4	ドイツのSDGsへの取り組み。前向きで楽しいエコライフスタイル	[講話] SDGsに配慮したライフスタイル、楽しく無理なくできることをコンセプトにし、ごみ対策や省エネ、交通、フェアトレード、防災、環境教育などのテーマで写真を見せながら、ドイツの成功例と札幌での活動を紹介します。 [体験] 自然エネルギー教育につながるソーラーおもちゃや水遊びできるツールの体験、ソーラークッカーでの料理体験ができます。		○	○	○	○		フルスト ビルギット ビアンカ (NPO法人 八剣山エコケータリング代表)	札幌市
	5	SDGsとまちづくり(地球の食卓、ワークキャンプ、環境保全、防災)	[講話] SDGsの取組を、世界の状況、ワークキャンプなどのボランティア、環境保全、防災の観点からお話します。国際の専攻科のある高校での実施も想定し、世界のSDGsの状況、国際的にはパートナーシップ等について、より発展的な内容もお話できます。 [体験] 災害時に要援護者を守るDIGワークショップ、避難所運営ゲーム(HUG)、SDGsカードゲームクロス、ワークキャンプ体験などが実施できます。		○	○	○	○	国際の専攻科のある高校	池田 誠 (一般財団法人北海道国際交流センター 専務理事/事務局長)	七飯町
「人と自然が共生する社会」とは何か	6	野生動物及びフットパス	[テーマ: 野生動物] ヒグマ、スズメバチ、マダニなど注意を要する動物とどう向き合ったらよいか、事故の防ぎ方等を学びます。 [テーマ: フットパス] 全道で盛り上がりを見せているフットパスの意義、作り方、楽しみ方等を学びます。 ※どちらかのテーマを選択してください。			○	○	○		小川 巖 (エコ・ネットワーク代表)	札幌市
	7	北海道の野生植物と環境	[講話] 北海道の野生植物・植生の特徴、植物群落の保全・保護の現状、自然再生や植生復元の取組などについてお話します。また、北海道の湿原、海岸草原、ミズバショウ、ハンノキなどについても紹介します。			○	○	○		富士田 裕子 (北海道大学名誉教授)	札幌市
	8	変化する人とヒグマの関係と今後	近年大きな問題となっているヒグマの出没や被害の原因について、ヒグマの生態や行動、人間社会の変化という視点から解説します。また今後の人とのヒグマの関係を考えるために、「ゾーニング」(住み分け)という考え方や、様々な立場で「ゾーニング管理」を進めるための方法についてのアイデアを紹介します。		○ (高学年)	○	○	○		佐藤 喜和 (酪農学園大学農食環境群教授)	小樽市
	9	ヒグマによる事故にあわないために	北海道のどこに暮らしていても、ヒグマとの遭遇は身近な問題となりました。正しく知って、正しく恐れる(過剰に恐れない)ことが大切です。ヒグマについての正しい知識を身につけて、ヒグマに出会わないために、または出会ってしまった時の対処法を学びましょう。		○	○				佐藤 喜和 (酪農学園大学農食環境群教授)	小樽市

令和7年度 北海道地域環境学習講座「eco-アカデミア」講座内容

項目	講座番号	講座名	内容	区分						トレーナー (所属等)	居住地
				幼児	小学生	中学生	高校生	一般	その他		
「体験型環境学習」を体験しよう	10	地域の宝をいかした地域教育のすすめ	[講演] ①～⑥などをテーマにお話します。①自然や第一次産業の豊かな北海道における環境教育、社会教育のあり方とその実践方法 ②自然学校の運営 ③長期間の子どもの体験活動事例 ④エコツーリズムの基本的な考え方 ⑤野外自然活動の意義 ⑥野外自然活動のリスクマネジメントの全体		○ (中高学年)	○	○	○		高木 晴光 (NPO法人くろす野外計画社 理事長)	黒松内町
	11	校庭を使った算数や英語の授業の方法と効果	(対象) 幼稚園から高校までは模擬授業、一般の先生向けには体験と理論 (内容) 算数や英語などの勉強を教室から飛び出して校庭などに出かけ、周囲にある具体物を使った体験を通じた授業を行うと子どもたちも簡単に理解することができるし、週に1回でも校庭で過ごす時間を持つことで、自然への関心も高まり、環境教育への効果的な取り組みになります。そのような野外で算数や野外で英語、国語などの授業のアイデアと指導方法を体験と海外での多くの取り組みを紹介しながらのセミナーを行なっています。	○	○	○	○	○		山本 幹彦 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティー 代表)	当別町
	12	環境を自分ごととして捉える授業の方法	(対象) 幼稚園から高校までは模擬授業、一般の先生向けには体験と理論 (内容) 環境を学ぶときの目的は知識を増やすだけではなく行動変容です。そのためには環境を自分事として捉えることが必要です。でも、何も特別な体験や仕掛けは必要ではないのです。子どもたちの今までの経験などの背景に合わせた授業の組み立て、授業の方法が必要です。「質問を作る」「マインドマップでイメージを共有する」といった手法をグループワークを通して学ぶ環境教育の方法をお伝えします。	○	○	○	○	○		山本 幹彦 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティー 代表)	当別町
	13	インタープリテーションの手法を学ぶ	(対象) 一般の方。中でも自然観察や自然や文化に関わるガイドの方、また、そのようなことを目指している高校生や大学生。 (内容) アメリカの国立公園で発達してきたインタープリテーションの考え方と手法を学びます。				○	○	自然観察や自然や文化に関わるガイドの方	山本 幹彦 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティー 代表)	当別町
	14	体験学習のすすめー企画から実践へ	「自然に親しみながら自然を知り、自然に優しい心を育てる」をモットーに、人と自然の関わりを知る体験学習を行います。函館山や近隣の海岸を素材とした体験学習や、室内においてクラフト・調理実習等を通じて地域を取り巻く環境を知ることができます。 [講話] 函館山の自然と要塞をテーマにお話します。 [体験] ①～③のいずれかの体験ができます。①自然観察(函館山季節の見どころコース) ②海岸漂着ゴミ回収・回収品で工作③イカ釣り漁船見学・漂着ゴミ回収・郷土料理実習(松前漬け・いかめし・季節の魚)		○	○	○	○	ファミリー参加団体・特別支援学校	木村 マサ子 (北海道アウトドアガイド)	函館市
	15	北海道の豊かな森林を子どもたちと考える	[講話] 小学5年生社会科「私たちの生活と森林」の単元に基づき北海道の森林、森林で働く人、課題、取り組みなど、教科書に則った内容を具体的な事例やデータを示しながら学校で授業を行います。 [体験] 宿泊学習のプログラムのひとつとして、実際に森の中で体験、実感を通じた学びができます。また校庭など学校周辺の野外フィールドでも実施できます。		○ (高学年)					山本 草 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティー)	当別町
「協働取組」の進め方	16	協働取組とSDGs/ウェルビーイング	[講話] SDGs(持続可能な開発目標)や、その後継目標の軸になると考えられているウェルビーイングについて、地域脱炭素や自然再興、海洋汚染等の基礎的な情報と、「誰一人取り残さない」理念や、環境省がローカルSDGs「地域循環共生圏」に取り入れた「環境、社会及び経済の統合的向上」等の考え方をお伝えします。		○ (中高学年)	○	○	○		溝淵 清彦 (公益財団法人北海道環境財団)	札幌市
親子でチャレンジ「エコライフ」	17	海ごみはどこからきたの?	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。[テーマ] ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装(3R)、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など [その他] 小学生向けの紙しばいも体験できます。	○	○	○	○	○		石塚 祐江 (NPO法人環境り・ふれんず 代表理事)	札幌市
	18	「ごみ」と私たちの暮らしを考える!	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。[テーマ] ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装(3R)、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など [その他] 小学生向けの紙しばいも体験できます。	○	○	○	○	○		石塚 祐江 (NPO法人環境り・ふれんず 代表理事)	札幌市
	19	ドイツの環境教育とSDGsに関わる体験	[講話] ドイツの環境教育のあり方等について、学校などの実例と取組を紹介します。知識・行動・心を育てる前向きな教育スタイルでエコライフの楽しさ・おいしさや可能性などについてお話します。 [体験] エコライフについて考えるきっかけとなる①～④などの体験もできます。①羊の毛でフェルトづくり②ストーンクラフト③ウッドクラフト④ソーラークッカー体験	○ (4歳程度)	○	○	○	○	親子・高齢者・障がい者	フルスト ビルギット ビアンカ (NPO八剣山エコケータリング代表)	札幌市
	20	フードロスを体験から学ぼう ①クッキング ②ドローイング ③ボードゲーム	[講演] フードロスの現状や世界の環境問題との関係、私たちにできることなどについてお話しします。防災の要素を交えたお話も可能です。 [体験] ①又は②又は③の体験ができます。①クッキング…家で持て余した食材を持ち寄り、持ち寄った食材だけを使って料理して、みんなでいただきます。②ドローイング…食材カードを使い、限られた食材だけでどんな料理ができるかを絵に描いてみます。③ボードゲーム…食材が主人公の「人生ゲーム」を通じて、生産から消費に到までの過程や、経済的・環境的コスト、社会的意義について学びます。		○	○	○	○	親子・高齢者・障がい者	和田 順子 (good food, good life 代表)	札幌市